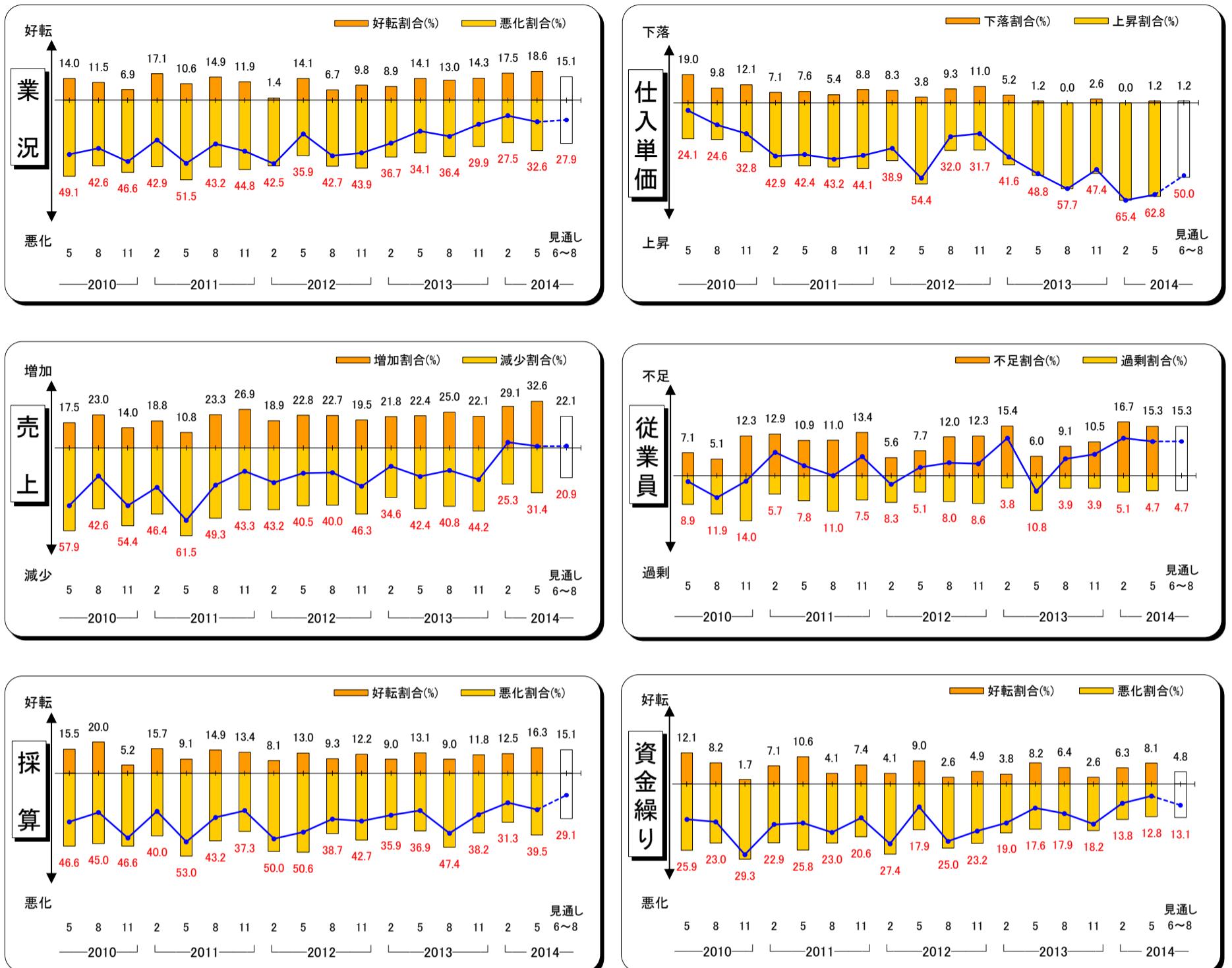


【卸売業】①



【卸売業】②

企業の声（順不同）

| | |
|---------------|--|
| 飲料卸売業 | 消費税率引き上げに伴う影響で売上が減少している。 |
| 牛乳・乳製品卸売業 | 企業努力により、前年を若干下回ってはいるものの売上をキープしている状態です。 |
| 食料・飲料卸売業 | 弊社は水産物を扱っておりますが、原料不足と仕入価格上昇に苦しんでおります。 |
| 食料・飲料卸売業 | 「20~30 年先」を見越し、腰を据えた政策を！ |
| 建築材料卸売業 | 今年の上半期は昨年にいただいた仕事をしておりますので、消費税の影響はありませんが、下半期以降は間違いない影響が出て悪化すると想定しています。 |
| 化学製品卸売業 | 工業関係動力代（主に電気代）が 50%アップしているため、非常に困っています。 |
| 石油卸売業 | 消費税増税と円安による仕入単価の上昇により毎月赤字となっている。消費税は全く転嫁できない。このままでは廃業も視野に入れなければならない。 |
| 非鉄金属スクラップ卸売業 | 為替相場は 100 円台前半で安定しています。ウクライナよりも中国経済の今後の進展が、日本の経済に与える影響が大きいと思います。政治よりも経済の結び付きがあまりにも強く成りすぎたと思います。市況的には夏場にかけて自然と原料の発生量が増えて、価格も落ち着いてくると見てています。 |
| 産業機械器具卸売業 | 金融機関は客に「借りてくれ」と繰り返し勧誘てくるが、いざ借入となると、会社の物件はすでに担保に入っていることに加え、信用保証協会の保証に代表者の個人保証と二重、三重に必要となってくるうえ、保証料を前取りするとはおかしいと思う。 |
| 産業機械器具卸売業 | 顧客の 3 月までの売上が消費税、補助金製品の関係で増しております。しかし 4 月からの動向を見てみると、5 月現在においては変化がありませんが、7 月、8 月頃から反動が出そうです。 |
| 産業機械器具卸売業 | 貿易業なので、消費税率引き上げによる売上・仕入れに関しての影響は、ほとんどない。しかし、消費税が還付されるまでの、経理上の負担が大きい。 |
| 自動車部分品・附属品卸売業 | 仕入価格の動向に注目している。 |
| 自動車部分品・附属品卸売業 | 雇用について、5 月に 2 名（営業 1 名・サービス 1 名）の募集をハローワークに提出したが、5 月下旬の時点でサービス 1 名のみ採用。雇用環境が良くなっている？ |
| タイヤ等自動車部品卸売業 | 消費税率引き上げにより、3 月は大幅増、4 月は大幅減の売上となっている。5 月以降は昨年の実績よりはタイヤの販売増を計画している。 |
| 理化学機械器具等卸売業 | 中国やインドにおける原料価格の高騰により、販売価格を上げざるを得ず、売上は上昇しているものの、採算悪化や販売数量の減少が続いている。国内産業にとって円安はほとんどプラスに作用しておらず、更なる空洞化を懸念しています。 |
| 化粧品卸売業 | 営業職の従業員を 3 名雇用したので、新規開拓でお客様を増やし、売上を上げなければならぬが、価格競争などにさらされ、なかなかお客様が取れない状況なので、非常に厳しくなっている。先行き見通しには希望観測を含む。 |
| 紙製品卸売業 | アベノミクスで大企業は業績が上がっており、中小企業も徐々にではあるが好転してくると感じられるが、果たしてこの状態が長く続くのかは疑問視している。引き続き努力して行きたいと考えている。 |